

指定管理者制度導入施設 モニタリングチェックシート

(平成25年度 上半期(4月～9月) の管理運営状況)
年間(4月～3月)

施設名	萩野センター	指定管理者	医療法人財団 暁
指定期間	平成25年4月1日から 平成30年3月31日まで	担当課	高齢者支援課

1 業務の遂行状況及び収支の状況

分類		年間計画 (A)	実績 (B) (モニタリング時)	対計画比率 (B/A×100)
開館日数 (日)		244	244	100.0%
延べ利用者数 (人)		4000	2325	58.1%
自主事業	実施回数 (回)	11	89	809.1%
	利用者数 (人)	152	512	336.8%
収入	指定管理料 (円)	14,468,700	14,468,700	100.0%
	利用料金収入 (円)	3,400,000	2,136,900	62.9%
	自主事業収入 (円)	3,888,000	411,200	10.6%
収入計 (円)		21,756,700	17,016,800	78.2%
支出	人件費 (円)	10,274,000	9,902,825	96.4%
	維持管理経費 (円)	7,034,000	3,889,307	55.3%
	自主事業関係経費 (円)	2,861,093	4,289,849	149.9%
	その他の支出 (円)	0	0	0.0%
支出計 (円)		20,169,093	18,081,981	89.7%
収支 (収入－支出) (円)		1,587,607	▲ 1,065,181	

指定管理者の自己評価 (改善点、その他特記事項)

【開館日数・利用者数について】 開館日数は計画どおり開館しているが、2月の大雪の影響もあり、利用者数については計画より少ない状況であるため、改善する必要がある。引き続き、啓発・広報活動を行う必要がある。	【事業の実施状況について】 通所事業に関してはプログラムの内容の改善図った。げんき応援事業の実施によりセンターの周知が行えたが、より多くの方に利用してもらえるようプログラムを検討していく。	【収支状況について】 通所事業の収支は良好である。自主事業については、年間を通じて準備期間や初期投資により収支のバランスは改善が必要であり、次年度では更に自主事業を展開していく。
---	--	---

所管課の評価 (指摘事項)

【開館日数・利用者数について】 計画通り開館されている。利用者数については、大雪の影響もあるが、計画よりも下回っていることから、今後も引き続き、啓発・広報活動を行う必要がある。	【事業の実施状況について】 利用者に適した通所事業やげんき応援事業が実施されており、良好である。	【収支状況について】 通所事業の収支は良好であるが、自主事業における収支については、指定管理期間中に改善を図る必要がある。
--	--	---

2 チェック項目

評価項目・評価事項 (数値目標)	確認資料等	指定管理者の自己評価	所管課の評価	
受付等の業務	施設の利用許可等を条例に従い適切に行っている	日報、月報、利用者アンケート、申請書	○適正・要改善	○適正・要改善
	使用料、利用料金の徴収、減免を適切に行っている	日報、月報、申請書	○適正・要改善	○適正・要改善
施設・設備の維持管理	消防設備、機械設備の保守点検や施設の修繕等を適切に行っている	各種点検結果報告書、実地	○適正・要改善	○適正・要改善
	衛生環境を維持するため清掃業務等を適切に行っている	日報、月報、実地	○適正・要改善	○適正・要改善
	備品等を適切に保管・管理している	備品台帳、実地	○適正・要改善	○適正・要改善

	業務の全部又は主たる業務を第三者に請け負わせていない	実地	適正・要改善	適正・要改善	
安全性への配慮	安全管理、衛生管理、危機管理に関するマニュアルが整備され、また、職員等に対する指導訓練が適切であり、市への通報体制が整っている	危機管理マニュアル	適正・要改善	適正・要改善	
	避難経路の確保、事故防止策や防犯等の警備業務など利用者への安全対策が講じられている	実地	適正・要改善	適正・要改善	
	損害保険等の必要な保険に加入している	保険証書	適正・要改善	適正・要改善	
透明性・公平性	ホームページ等により施設の情報の公開に努めている	ホームページ	適正・要改善	適正・要改善	
	情報公開に対する体制を整備している	情報公開マニュアル	適正・要改善	適正・要改善	
	利用者の平等な利用が確保されている	日報、月報、利用者アンケート、申請書	適正・要改善	適正・要改善	
効果的・効率的な運営	苦情や利用者アンケートによる意見、要望等を管理運営に反映している	利用者アンケート	適正・要改善	適正・要改善	
	施設の利用者拡大の取組を行っている	日報、月報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善	
	経費削減のための取組を行っている	日報、月報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善	
	広報紙、チラシ、ホームページなどにより積極的に事業等を周知している	広報紙、チラシ、ホームページ	適正・要改善	適正・要改善	
人員配置・人材育成等	事業計画書おりの人員を配置している	5人	人員配置計画、実地、出勤簿	7人 適正・要改善	適正・要改善
	事業計画書おりの職員の指導育成や研修を行っている	12回/年	研修マニュアル	実施回数12回 適正・要改善	適正・要改善
	労働法令の遵守や労働条件への適切な配慮がなされている		実地、出勤簿	適正・要改善	適正・要改善
個人情報の保護	個人情報を保護するための取組を行っている		個人情報保護マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	文書管理を適切に行っている		保存文書	適正・要改善	適正・要改善
自主事業の取組	自主事業の実施により、市民サービスの向上に努めている		事業報告書、日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善
環境への配慮	省エネルギーの取組、環境負荷低減、ゴミの減量など、環境への配慮に取り組んでいる		日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善

※評価基準

「適正」：その項目について、協定書、事業計画書等に沿った適正な指定管理業務を行っている。

「要改善」：その項目について、協定書、事業計画書等に照らし合わせて、目標達成されておらず、改善の余地がある。

3 上記1、2の評価に関する所見

指定管理者による所見（改善点、その他特記事項）	<p>上半期に実施できなかった自主事業(通称「げんき応援事業」)に取り組むことが出来ました。毎月の広報掲載を目標に様々な企画を提案し、市民サービスの向上と自立支援に努めました。</p> <p>萩野センターは市役所、秋川駅、るのバスの停留所から近いという利点のためか、一般市民の集客が一番多く、比較的若い世代の利用が多いことから、今後はさらに介護予防に特化したプログラムを検討したいと考えています。しかし、通所事業の利用者数が少なかったことから、センター全体の周知が図れるよう積極的な営業活動を実施していきます。</p>
市による所見（指摘事項など）	<p>下半期は、自主事業のげんき応援事業を数多く実施し、市民サービスの向上に大きく貢献していますので継続的な運営をお願いしますが、事業の収支バランスの適正化に努める必要があります。利用者については、計画どおりに増加しなかったが、啓発・広報活動を継続することにより、今後、利用者が増加することを期待します。事業の運営についても、萩野センターの特性にあわせた事業の改善を図りながら、高齢者のニーズに応えるサービスの提供をお願いします。</p>